

入札説明書

市が行う建設工事の工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則(平成17年米子市規則第106号)及び米子市会計規則(平成17年米子市規則第44号)を承知のうえ参加してください。

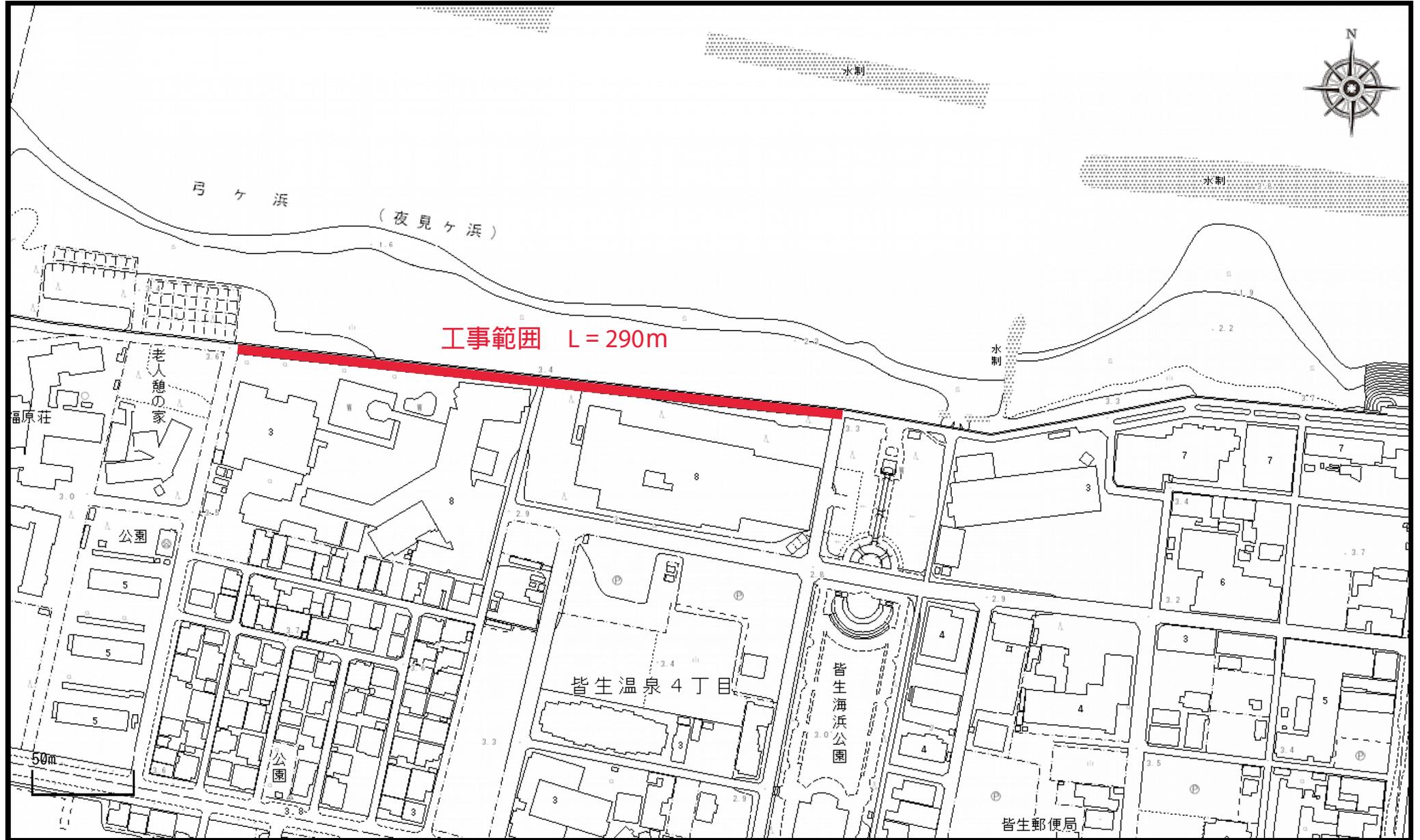
記

工事希望型指名競争入札に付する工事	工事名	皆生みらいの灯り推進事業照明設置工事		
	工事場所	米子市皆生温泉四丁目地内	工期	契約日から令和6年3月31日まで
契約条項を示す場所	担当課	米子市総務部契約検査課		
入札保証金に関する事項	入札保証金	免除		
現場説明会	なし			
開札の日時及び場所	日時場所	令和5年8月1日 午前10時5分 本庁舎202会議室	開札	
契約保証に関する事項	<p>請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。</p> <p>(1) 契約保証金の納付 (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3) 銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。)の保証 (4) 公共工事履行保証証券による保証 (5) 履行保証保険契約の締結</p>			
前払金	有	40%以内 ※ただし、請負代金の額が130万円を超える場合に限る		
部分払	有	回数は、米子市建設工事執行規則による ※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する注意事項	<p>1. 開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。</p> <p>2. 入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。</p> <p>3. 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。</p> <p>4. 入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。</p> <p>5. 入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。</p> <p>6. 落札となるべき価格と同一価格の入札をしたものが2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて、落札者を決定するものとする。この場合において、くじを引くべき入札者が、当該入札の立会者として参加している場合はその者が、参加していない場合は入札事務に関与しない職員に当該入札者に代わってくじを引かせるものとする。</p> <p>7. 本件工事は、米子市建設工事最低制限価格設定要領に定める方法により、予定価格の2/3(ただし、8/10を下回る場合は、8/10とする。)以上で最低制限価格を設定しており、最低制限価格を下回る価格で入札があった場合は、当該入札者を失格とし、予定価格の範囲内の価格で入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とする。</p> <p>8. 入札書に工事費内訳書が同封されていない場合は、無効とする</p> <p>9. 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格(円未満切捨て(単価契約を除く。))とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積った契約希望価格の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。</p> <p>10. 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはならない。</p> <p>11. 入札回数は、1回とする。</p>			
その他の注意事項	<p>1. 米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。</p> <p>2. 申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。</p> <p>3. 同一の主任技術者は、米子市が発注した工事(通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。)に3件を超えて従事することはできないものとする。</p> <p>4. 別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。</p> <p>5. 工事現場に配置する技術者等(主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。)は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係(第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。)が申込日までに3ヶ月以上ある者に限るものとする。</p>			
施工に関する注意事項	<p>1. 工事設計図書 別紙のとおり</p> <p>2. 本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。</p> <p>3. この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用しよう努めること。</p> <p>4. 工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。</p>			
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格		¥95,913,400		
最低制限価格		(直接工事費+共通仮設費+現場管理費の9/10+一般管理費5.5/10)×1.1		

工 事 設 計 書

令和 5 年度	工事名	皆生みらいの灯り推進事業照明設置工事				
		部長	課長	担当課長補佐	審査	設計
設 計 金 額	円					
工 期	契約日 から 令和6年3月31日 まで					
工 事 場 所	米子市 皆生四丁目 地内					
工 事 概 要	施工延長 L=290m 電気設備工 1式 舗装工 1式 縁石工 1式 構造物撤去工 1式					

位置図



設計数量総括表

皆生みらいの灯り推進事業照明設置工事

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
電気設備工						
	作業土工			式	1	
	地下埋設工					
		ハンドホール	H2-6	基	6	
		ハンドホール	H2-9	基	2	
		配管・配線		式	1	
		地中埋設標	鉄製	個	9	
	受電設備工					
		引込柱	電力量計ボックス付	本	1	
		配管・配線		式	1	
	器具工					
		ポール灯	LED照明灯3灯式SPポール	基	10	
			照明制御盤 SUS製	面	3	
			配管・配線	式	1	
舗装工						
	アスファルト舗装工					
		表層	t=4cm	m2	247	
		基層	t=4cm	m2	247	
	コンクリート舗装工					
		コンクリート舗装	コンクリート舗装 t=20cm	m2	247	
		路盤	クラッシャーラン RC-40 t=10cm	m2	247	
縁石工						
	縁石工					
		境界ブロック撤去		m	10	
		境界ブロック復旧		m	10	再利用
構造物撤去工						
	構造物取壊し工					
		舗装版切断	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版 15cmを超え30cm以下	m	582	
		舗装版破砕	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版 15cmを超え30cm以下	m2	247	
	運搬処理工					
		殻運搬	アスファルト殻 機械積込	m3	20	
		殻処分	アスファルト殻	t	46	
		殻運搬	コンクリート殻 機械積込	m3	49	
		殻処分	コンクリート殻	t	116	

1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事的確かな施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 受注者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成17年11月15日付第200500080172号県土整備部長通知）によること。

6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 受注者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 受注者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、受注者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に加入するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第25条第5項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第26条第5項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第26条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第25条」と読み替えるものとする。

契約書第25条第6項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第25条第6項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現場説明書

令和5年4月1日改正
特記事項1

仕様書		<p>本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ _____
工程	<p>① (他工事等との調整)</p> <p>② (部分完成、着工保留)</p> <p>③ (施工時間)</p> <p>④ (余裕期間設定工事)</p> <p>⑤ (鋼材の調達の遅れによる工期の延長)</p> <p>⑥ (週休2日モデル工事)</p>	<p>_____については、_____と関連するので相互の連絡を密にすること。</p> <p>_____については、_____まで_____ (すること ・ しないこと) 。</p> <p>_____本工事_____の施工時間は、<u>8:30 ~ 17:00</u>とする。</p> <p>本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。</p> <p>工期については、調達公告のとおりとする。</p> <p>この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいますが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。</p> <p>本工事は、米子市「週休2日工事モデル工事」試行実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。モデル工事を選択する場合は、工事着手日までに発注者に協議をすること。選択後の取扱いについては、同要領の規定による。</p>
用地関係	<p>① (用地・物件等未処理)</p>	<p>事業用地内の作業については、発注者にて行う地権者との借地契約及び海岸保全区域に関する占用申請の完了後とすること。</p> <p>なお、これらの完了目途について令和5年9月末頃を予定している。</p>
支障物件	<p>① (埋設物等の事前調査)</p> <p>② (支障物件)</p> <p>③ (立木の置き場所)</p>	<p>工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・調査済み]である。</p> <p>_____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。</p> <p>予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。</p> <p>工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。</p>
対公害	<p>① (騒音振動対策)</p>	<p>「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。</p> <p>本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。</p>
安全対策	<p>① (交通安全施設等)</p>	<p>一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。</p> <p>なお、交通整理の必要日数_____日を見込んでいます。配置人員として、交通誘導員Aを合計_____名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計_____名（交代要員[有・無]）を見込んでいますが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。</p> <p>警備業法に規定する警備員を配置する場合には、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。</p> <p>交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。</p> <p>なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置しているとみなす。</p>
排水処理濁水	<p>① (濁水処理)</p>	<p>工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。</p> <p>なお、これにより難しい場合は別途協議すること。</p>

現場説明書

特記事項2

	<p>【建設発生土（処理）】</p> <p>①（他工事等流用）</p> <p>②（建設技術センター）</p> <p>③（民間残土受入地）</p> <p>④（土質改良プラント）</p>	<p>建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。</p> <p>建設発生土は_____市・町・村_____地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり円をセンターに支払うこと。</p> <p>建設発生土は、米子 市→町→村 尾高 地内の 小倉興産 に運搬（片道運搬距離 14.0 km）するものとする。</p> <p>なお、処理費として、1 m³当たり 1,700 円を 事業者 に支払うこと。</p> <p>建設発生土は _____市・町・村 _____地内の _____ に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として1m³当り _____ 円を _____ に支払うこと。</p>
建設 副 産 物 の 処 理	<p>【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】</p> <p>⑤（分別解体等）</p> <p>⑥（他工事等流用）</p> <p>⑦（再資源化施設への搬出）</p> <p>(施設の名称・受入れ費用)</p> <p>(受入れ時間帯)</p> <p>(受入れ条件)</p> <p>⑧（木材市場等へ売却）</p> <p>⑨（最終処理等）</p> <p>⑩（産業廃棄物の処理に係る税）</p>	<p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。</p> <p>なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。</p> <p>コンクリート塊 1 m³当り 753.9 円</p> <p>アスファルト塊 1 m³当り 753.9 円</p> <p>建設発生木材 1 m³当り _____ 円</p> <p>[Co 雑割材・ _____]は、 _____市・町・村 _____地内 _____工事現場に運搬（片道運搬距離 _____km）するものとする。</p> <p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。</p> <p>再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。</p> <p>なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。</p> <p>コンクリート塊 米子 市→町→村 淀江町 地内の 大協組 (運搬距離 12.0 km)、費用 1t 当り 800 円</p> <p>アスファルト塊 米子 市→町→村 和田町 地内の カネックス (運搬距離 10.9 km)、費用 1t 当り 1,300 円</p> <p>建設発生木材 _____市・町・村 _____地内の _____ (運搬距離 _____km)、費用 1t 当り _____ 円</p> <p>その他 () _____市・町・村 _____地内の _____ (運搬距離 _____km)、費用 1t 当り _____ 円</p> <p>8時～17時（平日）</p> <p>ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。</p> <p>イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。</p> <p>ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____cm 以下、長さ _____m 以下であること。</p> <p>エ 2次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。</p> <p>建設発生木材は _____市・町・村 _____地内の _____への搬出（片道運搬距離 _____km）を想定し、 _____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。</p> <p>_____については、 _____市・町・村 _____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離 _____km）を想定し、その費用として1t 当たり _____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。</p> <p>産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。</p> <p>産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を _____円見込んでいる。</p>

現場説明書

特記事項3

建設副産物の使用	<p>①（建設発生土の使用）</p> <p>②（再生資材の使用）</p>	<p>_____ 工事から [当該工事運搬・相手方運搬] の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>1) C〇雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>3) ・再生クラッシャーラン [規格： RC-40] は、使用箇所：_____ <u>基礎碎石</u> _____ に使用する。 ・再生コンクリート砂 [規格： _____] は、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>4) 再生加熱アスファルト混合物 [規格： 再生密粒度 (13)] は、使用箇所：_____ <u>表層、基層</u> _____ に使用する。</p> <p>5) その他再生資材 [資材名： _____] [規格： _____] は、使用箇所：_____ に使用する。</p>
工事用道路	<p>①（農地の一時転用について）</p>	<p>本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。</p> <p>【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】</p> <p>受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。</p>
仮設備		

現場説明書

特記事項4

- ① (労災補償に必要な保険の付保)
- ② (現場環境改善)

本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・七ない〕。

下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。

1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

その他

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

※明示する項目を_____部分に記入又は追記し、不要部分は——で削除して使用すること。

一般 共通 事項	15 工事用仮設物	構内につくることが ※ できる ● できない			
	16 土工事	埋め戻し土 ※ 根切土中の良質土 ● 山砂の類 () ● 真砂土 () 建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積			
	17 電線類	本工事で環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。 EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。			
	18 電線本数・管路等	メッキ付着量 300g/m ² 以上とする。(※ 屋外 ●) 塗装する部分 ● 居室、廊下等 ● 機械室 ● 屋外 ● 波付硬質合成樹脂管 (FEP) を使用する場合は不燃又は難燃性とする。 ● 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製 シール等を貼付する。			
	19 厚鋼電線管の溶融垂鉛メッキ	メッキ付着量 300g/m ² 以上とする。(※ 屋外 ●)			
	20 露出配管の塗装	塗装する部分 ● 居室、廊下等 ● 機械室 ● 屋外 ●			
	21 波付硬質合成樹脂管 (FEP)	波付硬質合成樹脂管 (FEP) を使用する場合は不燃又は難燃性とする。			
	22 フラッシュプレートの材質	● 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製			
	23 カバープレートの用途別表示	シール等を貼付する。			
	24 地中箱	蓋の記号表示は鋤型流込みとし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。			
25 耐震施工	設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8年版・建設大臣官庁官庁整備部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。				
	1) 設計用水平地震力	機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。			
	設計用標準水平震度	● 特定の施設 ● 一般の施設			
	設置場所	機器種別			
	重要機器	一般機器			
	重要機器	一般機器			
	上層階 ^u 注、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.0
		防振支持の機器	2.0	1.5	1.5
		水槽類	2.0	1.5	1.0
	中間階	機器	1.5	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.0	
	水槽類	1.5	1.0	0.6	
地下及び1階	機器	1.0	0.6	0.4	
	防振支持の機器	1.0	1.0	0.6	
	水槽類	1.5	1.0	0.6	
注) 上層階の定義は次による。		※ 水槽類には燃料小出槽を含む。			
2～6階建: 最上階、7～9階建: 上層2階、10～12階建: 上層3階、13階以上: 上層4階					
重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換機 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ●)					
2) 設計用鉛直地震力	設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。				
接地極の材料は次による。					
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極		
● 共同接地	E'JAE'D	10Ω以下	EB×3連-2組		
● 共同接地	E'JAE'DCE'D	10Ω以下	EB×3連-2組		
● A種	E'JA	10Ω以下	EB×3連-2組		
● B種	E'JB	Ω以下	EB×2連-2組		
● C種	E'JC	10Ω以下	EB×3連-2組		
● D種	E'JD	100Ω以下	EB×1		
● 雷保護設備用	E'LL'A	Ω以下	● EP-0.6×2 ● EB×連-1組		
● 高圧避雷器	E'LL'VH	10Ω以下	EB×3連-2組		
● 交換機用	E'Jt	Ω以下	EB×3連-1組		
● 通信用	E'JA'Vt	10Ω以下	EB×3連-2組		
● 通信用	E'JD'Vt'及'E'JD'Vo	100Ω以下	EB×1		
● 電話引込口の保安器用	E'LL'Vt	100Ω以下	EB×1		
● 測定用	E'Jo	-	EB×1		
(連結又は単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)					
(測定用の場合、EBはD=10 L=1500 または W=30 L=1200とする)					
ステンレス製または鋼材に溶融垂鉛メッキを施したものとする。					
外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。					
建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。					
処理を行うアスベスト含有建材の仕様等					
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲			
※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。					
※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて必要な手続きを行う。					
● 施工調査 (分析によるアスベスト含有建材の調査) を行う。	分析方法はJISA 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。				
● アスベスト粉じん濃度測定を行う。	(測定時期:) (測定場所:) (測定地点:)				
● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備) 及び更衣設備等設ける。					
● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。	対象箇所 ()				

一般 共通 事項	30 補修など	工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にない補修する。	
	31 はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	
	32 はつり工事における非破壊検査	探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ●	
	33 あと施工アンカー	1) 施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置	
	34 室内空気中の化学物質の濃度測定	実施する。	
	35 火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+30日〕とする。)	
	36 鳥取県公共事業環境配慮指針	※ 対象工事	
	37 建築物省エネ法	※ 対象工事	
	1 照明器具	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。) ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時 (※ 夜間 ● 昼間) 調光制御点灯時 (※ 夜間 ※ 昼間)	
	2 一般照明の照度測定		
3 非常用照明の照度測定			
4 照明制御の照度測定等			
2 力設備	1 機器への接続	※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事	
3 雷保護設備	1 大地抵抗率の測定	● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。 ● 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極	
2 外部雷保護設備接地システム			
4 受変電設備	1 変圧器移動車輪	75kVA以上に取付。 ● 本工事 ● 別途工事	
2 デマンド監視装置			
3 盤内照明			
5 電力貯蔵設備	1 交流無停電電源装置 (UPS)	停電補償時間 (分) 方式 (● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)	
6 発電設備	1 自家発電装置	運転時間 (h) システム系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 出力 (kW) 配電盤外箱 (● 有 ● 無) 保安装置 (重故障項目特記 ● 有 ● 無) 外部用端子 (● 要 ● 不要) 減圧水槽及び初期注水槽の材質 (● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製) オイルタンク (● 地下 ● 屋内) 搬付: 機械設備工事標準図 (● 施工30、32 (タンク室無し) ● 施工31、33 (タンク室有り)) 燃料小出槽 (※): 返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。 材質 (● 鋼板製 ● ステンレス製) 燃料油等 (● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス ()) 排気系統配管断熱材の厚さ (mm) ばい煙測定口 (● 設ける ● 設けない) 排気ガスに含まれる窒素酸化物 (以下) 運転音 (dB以下) 系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 公称最大出力 (kW) 耐風速 (m/s) パワーコンディショナ (相線式 V) 定格容量 (kW) 自立運転機能 (● 有 ● 無) 表示装置 (● 有 ● 無) 方式 (※ 液晶 ●) 系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力 (kW)	
	2 太陽光発電装置	局線応答方式 (● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式) 停電補償時間 (分) ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線 (現用 / 実装 / 容量) ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台 卓上電話機1台につき次のものを見込む。 ● ボタン電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●) ● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● IP電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●)	
	3 風力発電装置		
	構内 交換 設備	1 交換機	局線応答方式 (● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式) 停電補償時間 (分) ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線 (現用 / 実装 / 容量) ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台 卓上電話機1台につき次のものを見込む。 ● ボタン電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●) ● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● IP電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●)
		2 保安器用接地	
		3 壁付電話機との接続	
		4 回線数	
		5 電話機	
		6 電話機への配線	
		1 マルチサイン装置	イメージスキャナ (● 設ける ● 設けない) 制御装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形) 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●) 親時計 (● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線) 太陽電池式屋外時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
2 出退表示装置			
3 時刻表示装置			
9 映像音響設備		1 プロジェクタ	光出力 (● I形 ● II形 ● III形) 解像度 (● A形 ● B形 ● C形) コントラスト比 (● X形 ● Y形)

10 声備	1 増幅器	形式 (● 卓上形 ● ラック形) 定格出力 (W) 性能 (● Hi形 ● Lo形) ● 増幅器の入出力配線と外部配管 (壁ボックス等) の接続はコネクターによる。		
	11 誘導	1 音声誘導装置	検出方式 (● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式)	
	12 火災報知設備	1 自動火災報知設備	受信機 (● 型級 回線 (番機型) ● 複合形 ● 単独形) ● 防火戸用 (※ ラッチ式 ● 電磁式) ● 防煙ダンパー用 (※ 電動復帰 ● 手動復帰) ● 防火シャッター用 (※ 別途工事 ● 本工事)	
		2 自動閉鎖設備	検知器 (● 天井取付形 ● 壁取付形)	
		3 ガス漏れ火災警報設備		
	13 構内配電線路	1 施工方法	埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上 (● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●)	
		2 地中箱	ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。	
		3 高圧負荷開閉器	● 閉鎖形 (● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) ● 地絡継電器付 (※ 方向性 ● 無方向性) ● 避雷器内蔵 ※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。	
		4 高圧ケーブルの端末部	高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策 (熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等) を行う。	
		5 高圧ケーブルの屋外端末処理	● 一般形 ● 耐塩形	
6 標識シート		※ 高圧 ● 低圧		
7 照明用ポール		照明用ポールには配線用遮断器 (トリップ機能なし) 又はカットアウトスイッチ (素通しヒューズ) を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。		
14 構内通信線路	1 施工方法	埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上 (● ●)		
	2 地中箱	ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。		
	3 標識シート	● データ回線 ● 電話 ● CATV ●		
15 テレビ電波受信障害調査	1 調査仕様	図面に記載されていない事項は、すべて (一社) 日本CATV技術協会の「建物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建物によるテレビ受信障害調査要領 (地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。 ※ 事前 ● 中間 ※ 事後		
	2 テレビ電波受信障害調査時期	中継局 波: 地点		
	3 受信する受信波及び地点数	中継局 波: 地点		
	4 報告書提出部数	※ 事前 3部 ● 中間部 ※ 事後 3部		
16 その他	1 機器取付高	機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。		
	電力共通	名称	測点	取付高 (mm)
		取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
		引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200
		分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
		スイッチ	〃	1,300
		〃 (多機能トイレ)	〃	1,100
		コンセント (一般)	〃	300
		〃 (和室)	〃	150
		〃 (台上)	台上～中心	150
〃 (土間)		床上～中心	800～1,300	
〃 (車椅子用)	〃	900		
ブラケット (一般)	〃	2,100～2,300		
〃 (踊場)	〃	2,000～2,500		
〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150		
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	
	手元開閉器	〃	1,500	
構内交換	操作スイッチ	〃	1,300	
	端子盤	床上～下端	300	
電気時計	保安器箱	天井下～上端	200	
	壁付アウトレット	床上～中心	300	
拡声	〃 (和室)	〃	150	
	壁掛形親時計	床上～中心	1,500 (上限1,900以下)	
検知	子時計	〃	天井高×0.9	
	壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9	
検知	壁付アツテネータ	〃	1,300	
	ガス漏れ中継器	天井下～中心	300	
検知	検知器 (都市ガス)	天井下～下端	300	
	〃 (LPガス)	床上～上端	300	
2 工事のため電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。				

Ⅲ. 機材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び (社) 公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。
ただし、盤類 (製作品) は上記によるほか県内製造業者とするが、優先順位は現場説明書による。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他()	
工事の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新築工事 <input type="checkbox"/> 維持・修繕工事 <input type="checkbox"/> 解体工事 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> その他(電気設備工事)	
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材	
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 _____ 年 その他()	
	周辺状況	周辺にある施設 <input type="checkbox"/> 住宅 <input checked="" type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他() 敷地境界との最短距離 約 _____ m その他()	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	工作物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所		作業場所 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他()
	搬出経路		障害物 <input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 _____ m 通学路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 その他()
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)		<input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無
	他法令関係(解体・維持・修繕工事のみ)	石綿(大気汚染防止法・安全衛生法石綿則)	<input type="checkbox"/> 有 特定建設資材への付着(<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) <input type="checkbox"/> 無
	その他		
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法(解体工事のみ)
	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 (構造物撤去工)	その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序(解体工事のみ)		<input type="checkbox"/> 上の工程における⑤→④→③の順序 <input type="checkbox"/> その他() その他の場合の理由()	
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)		トン	
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	量の見込み
		<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊	116 トン
		<input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	46 トン
		<input type="checkbox"/> 建設発生木材	トン
使用する部分又は発生が見込まれる部分(注) <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥			
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他			
備考			

欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 実施設計書 当初 05-*****-00000-40 0 1 実施単価 30 米子市 0-05.06.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	09 公園 02 率計上する(市街地) 11 市街地(DID補正) 01 金銭保証(0.04%) 01 豪雪割増あり 02 算出しない 01 週休二日補正なし				

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費									X1000	
電気設備工									Y1999	(レベル1)
作業土工									Y2999	(レベル2)
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	110		m3						SPK22040015 0 A=1, B=5, E=1	単第0-0001 表 050610
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	80		m3						SPK22040020 0 A=5, B=1, D=1	単第0-0002 表 050610
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離17.0km以下(12.0km超)	20		m3						SPK22040002 0 A=2, B=5, C=1, D=2, F=53	単第0-0003 表 050610
投棄料				一式					#0041 C=投棄料	
処分費 残土 (有)小倉興産	20		m3						TTV0439 0	050610
地下埋設工									Y2999	(レベル2)

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
プレキャストマンホール 据付 基礎砕石有り(円形断面) 製品質量2000kg/基以下 HH2	6		基						SPK22040091 0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1 単第0-0004 表	050610
プレキャストマンホール 据付 基礎砕石有り(円形断面) 製品質量2000kg/基以下 HH1	2		基						SPK22040091 0 A=1, B=1, C=3, D=1, E=1 単第0-0005 表	050610
EM-CETケーブル 22mm2管内	222		m						VEMCET22 0 単第0-0006 表	050610
波付硬質合成樹脂管(FEP) 40mm 主幹電源線	222		m						VFEP40 0 単第0-0007 表	050610
波付硬質合成樹脂管(FEP) 40mm 予備配管	222		m						VFEP40 0 単第0-0007 表	050610
波付硬質合成樹脂管(FEP) 30mm 制御盤同期	200		m						VFEP30 0 単第0-0008 表	050610
EM-CEケーブル 2mm2-3c管内	1,446		m						VEMCE2 0 単第0-0009 表	050610
波付硬質合成樹脂管(FEP) 40mm 電源用	482		m						VFEP40 0 単第0-0007 表	050610
波付硬質合成樹脂管(FEP) 30mm 信号用	482		m						VFEP30 0 単第0-0008 表	050610

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
DMXケーブル 203-2P-EM 制御盤～ポール灯 信号線	482	m			VDMX203 0 単第0-0010 表 050610
DMXケーブル 203-2P-EM 盤間の同期用	400	m			VDMX203 0 単第0-0010 表 050610
FCPEVケーブル EM-FCPEE 制御盤～ポール灯 信号線	482	m			VFCPEV 0 単第0-0011 表 050610
コンクリート削孔(さく岩機) 削孔深さ100mm以上200mm未満 FEP30用	29	孔			SPK22040111 0 A=1 単第0-0012 表 050610
コンクリート削孔(さく岩機) 削孔深さ100mm以上200mm未満 FEP40用	15	孔			SPK22040111 0 A=1 単第0-0012 表 050610
地中埋設票 鉄製	9	個			VMHS 0 単第0-0013 表 050610
埋設標識シート W150	350	m			VMHS1 0 単第0-0014 表 050610
作業土工(枝線・基礎部)					Y3999 (レベル3)
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	30	m ³			SPK22040015 0 A=1, B=5, E=1 単第0-0001 表 050610

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	20		m ³			SPK22040020 0 A=5, B=1, D=1 単第0-0002 表 050610
受電設備工						Y2999 (レベル2)
引込柱						VHC07 0
電力量計ボックス付 漏電ブレーカー	1		本			単第0-0015 表 050610
2P2E50AF/50AT	1		個			VRB01 0 単第0-0016 表 050610
引込柱基礎						VHCK1 0
	1		ヶ所			単第0-0017 表 050610
接地設置 銅覆鋼棒打込式 φ10×1.5m						VSKS1 0
	1		極			単第0-0021 表 050610
耐熱性ポリエチレン絶縁電線 PE管内 8mm ²						VEMIE6008 0
	2		m			単第0-0022 表 050610
器具工						Y2999 (レベル2)
ポール灯						Y3999 (レベル3)

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
LED照明灯設置									VLEDPT 0	
	10		基						単第0-0023 表	050610
照明灯基礎									V8335 0	
	10		ヶ所						単第0-0027 表	050610
コンクリートアンカーボルト設置 あと施工アンカー(各種)									SPK22040405 0 A=1, B=4, D=9	
	40		本						単第0-0030 表	050610
照明制御盤 SUS製									VSSB1 0	
	3		面						単第0-0031 表	050610
制御盤基礎									VSBK1 0	
	3		ヶ所						単第0-0032 表	050610
接地設置 銅覆鋼棒打込式 φ10×1.5m									VSKS1 0	
PL用10本、制御盤用3本	13		極						単第0-0021 表	050610
耐熱性ポリエチレン絶縁電線 5.5mm ²									VEMIE60055 0	
	26		m						単第0-0033 表	050610
舗装工									Y1999 (レベル1)	
アスファルト舗装工									Y2999 (レベル2)	

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚40mm	247	m ²			SPK22040235 0 A=1, B=40, C=7, E=1, G=1, H=1, I=1 単第0-0034 表 050610
基層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚40mm	247	m ²			SPK22040233 0 A=1, B=40, C=7, E=2, G=1, H=1, I=1 単第0-0035 表 050610
コンクリート舗装工					Y2999 (レベル2)
上層路盤(車道・路肩部) M-30 全仕上り厚100mm 1層施工	247	m ²			SPK22040228 0 A=6, E=100, H=1 単第0-0036 表 050610
コンクリート舗装(人力)	247	m ²			V0001 0 単第0-0037 表 050610
縁石工					Y1999 (レベル1)
縁石工					Y2999 (レベル2)
歩車道境界ブロック撤去 再利用	10	m			SPK22040284 0 A=2 単第0-0038 表 050610
歩車道境界ブロック C種(180/210×300×600) 片斜両面R 再利用設置 RC-40 養生工有り	10	m			SPK22040282 0 A=2, B=5, E=1, F=2, G=2, H=1 単第0-0039 表 050610

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物撤去工					Y1999 (レベル1)
構造物取壊し工					Y2999 (レベル2)
舗装版切断 コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版 全体厚15cmを超え30cm以下	582	m			SPK22040303 0 A=3, C=2, D=2, E=1 単第0-0040 表 050610
舗装版破碎 コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以上35cm以下	247	m ²			SPK22040302 0 A=3, B=1, C=1, D=8, E=1, F=1, G=1 単第0-0041 表 050610
運搬処理工					Y2999 (レベル2)
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離12.0km以下(9.0km超) アスファルト殻	20	m ³			SPK22040142 0 A=3, B=2, C=2, D=47, E=1 単第0-0042 表 050610
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離12.0km以下(9.0km超) コンクリート殻	49	m ³			SPK22040142 0 A=3, B=2, C=2, D=47, E=1 単第0-0042 表 050610
投棄料	1	一式			#0041 C=投棄料
処分費 As殻					TTV0440 0 050610
カネックス	46	t			

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
処分費									TTV0441	0
大協組	116		t							050610
直接工事費										
現場環境改善費									Z0012	
共通仮設費										
共通仮設費計										
純工事費										
現場管理費										
工事原価										
一般管理費率分										

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相 当額					
工事費計					

施工単価表

単第0-0001 表

SPK22040015

1

m3 当り

床掘り

土砂 上記以外(小規模)

機械構成比: 21.91% 労務構成比: 70.90% 材料構成比: 7.19% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	21.91%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
特殊運転手	38.51%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	7.19%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

単第0-0002 表

SPK22040020

上記以外(小規模)

1

m3 当り

埋戻し

土砂

機械構成比: 10.54%

労務構成比:

85.61%

材料構成比:

3.85%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1

m3 当り

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	9.89%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ 質量60~80kg	0.65%		タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.39%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	17.37%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	3.24%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン レギュラー スタンド	0.61%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

単第0-0003 表

SPK22040002

1

m3 当り

DID区間有り 距離17.0km以下(12.0km超)

土砂等運搬

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 25.82% 労務構成比: 62.21%

材料構成比: 11.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.82%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
一般運転手	62.21%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	11.97%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=53 距離17.0km以下(12.0km超)			B=5 バックハウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

単第0-0004 表

基 当り

1

HH2

SPK22040091

製品質量2000kg/基以下

プレキャストマンホール

据付 基礎砕石有り(円形断面)

機械構成比: 3.06% 労務構成比: 13.79%

材料構成比: 83.15%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3, 吊能力2.9t	2.64%		バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3, 吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	3.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	2.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	0.46%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ハンドホール H2-6 900*900*600、R8K-60蓋付(φ600) セパレータ含む	82.01%		プレキャストマンホール 製品質量2,000kg/基以下		F000000001 TTPT00138
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.99%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

単第0-0004 表

基 当り

1

HH2

製品質量2000kg/基以下

SPK22040091

プレキャストマンホール

据付 基礎砕石有り(円形断面)

機械構成比: 3.06%

労務構成比:

13.79%

材料構成比: 83.15%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=1 【F】マンホール(式) E=1 -(全ての費用)			B=1 製品質量2000kg/基以下 D=1 基礎砕石有り(円形断面)		

施工単価表

単第0-0005 表

基 当り

1

HH1

SPK22040091

製品質量2000kg/基以下

プレキャストマンホール

据付 基礎砕石有り(円形断面)

機械構成比: 3.06% 労務構成比: 13.79%

材料構成比: 83.15%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m ³ , 吊能力2.9t	2.64%		バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m ³ , 吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	3.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	2.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	0.46%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ハンドホール H2-9 900*900*900、R8K-60蓋付(φ600) セパレータ含む	82.01%		プレキャストマンホール 製品質量2,000kg/基以下		F000000003 TTPT00138
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.99%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

単第0-0005 表

基 当り

1

HH1

製品質量2000kg/基以下

SPK22040091

プレキャストマンホール

据付 基礎砕石有り(円形断面)

機械構成比: 3.06%

労務構成比: 13.79%

材料構成比: 83.15%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=3 【F】マンホール(式) E=1 -(全ての費用)			B=1 製品質量2000kg/基以下 D=1 基礎砕石有り(円形断面)		

施工単価表

単第0-0012 表

1 孔 当り

SPK22040111

FEP30用

標準単価:

コンクリート削孔(さく岩機)

削孔深さ100mm以上200mm未満

機械構成比: 6.20% 労務構成比: 87.50%

材料構成比: 6.30% 市場単価構成比: 0.00%

代表機 労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5~3.7m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.62%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5~3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 ハンドドリル(空圧式) 15kg級	1.64%		さく岩機 ハンドドリル(空圧式) 15kg級		MTPC00112 MTPT00112
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	54.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	12.28%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	5.34%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

単第0-0017 表

VHCK1

1ヶ所 当り

引込柱基礎

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.1	m3			SPK22040144 単第0-0018 表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.7	m2			SPK22040146 単第0-0019 表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	0.2	m2			SPK22040034 単第0-0020 表
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	0.2	m3			SPK22040015 単第0-0001 表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	0.1	m3			SPK22040020 単第0-0002 表
*** 単位当たり ***	1	ヶ所			

施工単価表

単第0-0018 表

SPK22040144

1

m3 当り

コンクリート
小型構造物 18-8-40BB

人力打設

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 44.48% 材料構成比： 55.52% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	55.52%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

単第0-0019 表

SPK22040146

1

m2 当り

小型構造物

型枠

一般型枠

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.15%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.34%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

単第0-0020 表

SPK22040034

RC-40

1

m2 当り

基礎砕石
 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下
 機械構成比： 6.07% 労務構成比： 75.99%

材料構成比： 17.94% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型] 賃料 山積0.8m3	6.03%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	36.48%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.80%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	14.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン RC-40	12.97%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	4.94%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

単第0-0020 表

SPK22040034

1

m2 当り

基礎砕石

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

機械構成比： 6.07% 労務構成比： 75.99%

材料構成比： 17.94% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 D=1 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 -(全ての費用)			B=1 RC-40		

施工単価表

単第0-0023 表

1 基 当り

LED照明灯設置

VLEDPT

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ポール照明柱建柱	1	基			VPSK1 単第0-0024 表
照明器具取付	1	台			VSKT1 単第0-0025 表
LEDスポットライト Monospot3 36W, 300K相当 DMX調光 重耐塩性仕様指定色	2	台			TLEDSM 見積 1
LEDスポットライト用フード Monospot3用相当	2	ヶ			TLEDSMF 見積 1
投光器 BRICK	1	器			TTKKB 見積 1
投光器支持金具	1	ヶ			TTKKK 見積 1
インジケータライト	1	台			TIKL1 見積 1
スポットライトポール 3灯式角型段付 メッキ後重耐塩性指定色塗装	1	本			TSPLP 見積 1
ジョイントユニット FMN68-15A相当	1	個			TJOINU 見積 1
アンカーボルト 4-M24-L ネジ部メッキ	1	一式			TANK24 見積 1
雑材料	5	%			#01
*** 単位当たり ***	1	基			

施工単価表

単第0-0024 表

10

基 当り

VPSK1

ポール照明柱建柱

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工	5.0	人			R0090
普通作業員	4.0	人			RTPC00002
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 賃料 4.9 t吊	1.7	日			KTPC00024
*** 合計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施工単価表

単第0-0025 表

10 台 当り

VSKT1

照明器具取付

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工	4.1	人			R0090
普通作業員	2.1	人			RTPC00002
高所作業車運転 トラック架装リフト・垂直昇降・プラットフォーム型 作業床高:13.2m	9	時間			S9352 単第0-0026 表
*** 合計 ***	10	台			
*** 単位当たり ***	1	台			

施工単価表

単第0-0026 表

1 時間 当り

S9352

作業床高:13.2m

高所作業車運転

トラック架装リフト・垂直昇降・プラットフォーム型

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	4.20	L			TTPC00013
特殊運転手	0.20	人			RTPC00006
高所作業車 T架装・垂直昇降・プラットフォーム型 作業床高13.2m積載荷重1000kg	1	時間			MTPC00111
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	時間			
A=4 作業床高:13.2m					
燃料消費量 (時間当り) = 95.000 (kW) × 0.044 (燃料消費率) = 4.200 (L/時間) 運転日当運転時間 T = 500 (③欄) / 100 (④欄) = 5.0 運転労務歩掛 1 / T = 1 / 5.0 = 0.20					

施工単価表

単第0-0027 表

V8335

10ヶ所 当り

照明灯基礎

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.9	人			RTPC00002
モンケン・アースオーガ運転 オーガ出力30kW2t	7	時間			S9115 単第0-0028 表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.72	m3			SPK22040144 単第0-0029 表
スパイラルダクト Φ500 直管	2	m			TSUP500 建設物価6月 p.735
*** 合計 ***	10	ヶ所			
*** 単位当たり ***	1	ヶ所			

施工単価表

単第0-0028 表

S9115

1 時間 当り

モンケン・アースオーガ運転
オーガ出力30kW2t

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	7.30	L			TTPC00013 ベースマシン (qp) 1
特殊運転手	0.16	人			RTPC00006
クローラ式杭打機(単体+ベースマシン) モンケン及びアースオーガ併用・直結三点 モン2tオーガ径φ320~600mm長11.5~15.5m	1	時間			M0646
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	時間			
A=1 オーガ出力30kW2t			B=2	発動発電機を電源とする場合	
燃料消費量 (時間当り) = 86.000 (kW) × 0.085 (燃料消費率) = 7.300 (L/時間) 運転日当運転時間 T = 620 (③欄) / 100 (④欄) = 6.2 運転労務歩掛 1 / T = 1 / 6.2 = 0.16					

施工単価表

単第0-0029 表

1 m3 当り

SPK22040144

バックホウ(クレーン機能付)打設

コンクリート
小型構造物 18-8-40BB

機械構成比: 4.31% 労務構成比: 39.87% 材料構成比: 55.82% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料 山積0.8m3	4.07%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	6.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	53.94%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.78%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

単第0-0030 表

SPK22040405

1

本 当り

コンクリートアンカーボルト設置

あと施工アンカー(各種)

機械構成比： 20.85% 労務構成比： 70.55% 材料構成比： 8.60% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
高所作業車 [トラック架装リフト] 賃料 ブーム型作業床高10~12m未満 幅広デッキ	20.85%		高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 幅広デッキタイプ 作業床高さ10~12m未満		KTPC00068 KTPT00068
特殊作業員	22.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	21.19%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	11.45%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
あと施工アンカー 金属拡張アンカー 本体打込み式 24mm 建設物価6月 p.64	5.76%		あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12		F000000009 TTPT00217
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	2.67%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

VSSB1

単第0-0031 表

1 面 当り

照明制御盤
SUS製

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工	2.1	人			R0090
照明制御盤本体 SUS製	1	面			TSSB1 見積 1
プログラム調整費	1	一式			TPRGC 見積 1
雑材料	1	%			#01
*** 単位当たり ***	1	面			

施工単価表

単第0-0032 表

VSBK1

制御盤基礎

1ヶ所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.1	m3			SPK22040144 単第0-0029 表
型枠 一般型枠 小型構造物	5.4	m2			SPK22040146 単第0-0019 表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	0.8	m2			SPK22040034 単第0-0020 表
*** 単位当たり ***	1	ヶ所			

施工単価表

単第0-0034 表

1 m2 当り

SPK22040235

1層当り平均仕上厚 4 0 mm

表層(車道・路肩部)

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

機械構成比: 0.54% 労務構成比: 46.55% 材料構成比: 52.91% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.30%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg	0.16%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.88%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.60%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生密粒度アスコン (13)	51.07%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	1.66%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

施工単価表

単第0-0034 表

1 m2 当り

SPK22040235

1層当り平均仕上厚 4 0 mm

1

標準単価:

表層(車道・路肩部)

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

機械構成比: 0.54%

労務構成比:

46.55%

材料構成比: 52.91%

市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン レギュラー スタンド	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.03%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 C=7 G=1 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(13) - -(全ての費用)		B=40 E=1 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-4 -	

施工単価表

単第0-0035 表

1 m2 当り

SPK22040233

1層当り平均仕上厚 4 0 mm

基層(車道・路肩部)

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

機械構成比: 0.56% 労務構成比: 48.33% 材料構成比: 51.11%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.32%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.16%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	21.68%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.16%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.47%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生密粒度アスコン (13)	45.85%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00281
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	5.06%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

単第0-0035 表

1 m2 当り

SPK22040233

1層当り平均仕上厚 40 mm

1

標準単価:

基層(車道・路肩部)

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

機械構成比: 0.56%

労務構成比:

48.33%

材料構成比: 51.11%

市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン レギュラー スタンド	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.04%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		

施工単価表

単第0-0036 表

1

m2 当り

SPK22040228

全仕上り厚100mm 1層施工

上層路盤(車道・路肩部)

M-30

機械構成比： 10.36% 労務構成比： 31.02% 材料構成比： 58.62% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.19%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.24%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
タイヤローラ 8～20t	1.06%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	14.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.97%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.40%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

単第0-0036 表

1 m2 当り

1

標準単価:

市場単価構成比: 0.00%

材料構成比: 58.62%

労務構成比: 31.02%

全仕上り厚 100mm 1層施工

SPK22040228

上層路盤(車道・路肩部)

M-30

機械構成比: 10.36%

労務構成比:

31.02%

材料構成比:

58.62%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
粒度調整碎石 M-30	55.88%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0021 TTPT00357
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	2.25%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=6 H=1	M-30 -(全ての費用)		E=100 全仕上り厚(mm)		

施工単価表

単第0-0037 表

100 m² 当り

コンクリート舗装 (人力)

V0001

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.08	人			RTPC00009 1
特殊作業員	3.35	人			RTPC00001 1
普通作業員	6.38	人			RTPC00002 1
レディーミクストコンクリート 普通 18-8-40 W/C60%以下	20.8	m ³			T0312
石粉	0.3	t			T2130007 県単価6月 p.47
溶接金網 丸鉄線溶接金網 φ4 150×150	105	m ²			W0001 建設物価6月 p.74
雑材料	27	%			#01
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施工単価表

単第0-0038 表

SPK22040284

1

m 当り

歩車道境界ブロック撤去
再利用

機械構成比： 4.65% 労務構成比： 93.76% 材料構成比： 1.59% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型・超小旋回] 賃料 排ガス1次山積0.22m3	4.65%		小型バックホウ [クローラ型・超小旋回型] 山積0.22m3		KTPC00002 KTPT00002
普通作業員	30.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	17.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	17.10%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.59%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 再利用					

施工単価表

単第0-0039 表

1 m 当り

歩車道境界ブロック

SPK22040282

再利用設置 RC-40 養生工有り

C種(180/210×300×600) 片斜両面R

機械構成比: 2.88% 労務構成比: 83.76% 材料構成比: 13.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3) 吊能力0.9t	2.39%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3) 吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
バックホウ [クローラ型] 賃料 山積0.8m3	0.49%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	27.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	23.49%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	13.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
型わく工	12.36%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	11.22%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.08%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

単第0-0040 表

SPK22040303

1

m 当り

舗装版切断

コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版

全体厚15cmを超え30cm以下

機械構成比: 10.03% 労務構成比: 34.10%

材料構成比: 55.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深30cm級ブレード径φ75cm	6.78%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深30cm級ブレード径φ75cm		MTPC00057 MTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.80%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.09%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	5.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッター(ブレード) 径30インチ(75cm)	25.36%		コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径75cm(30インチ)		TTPC00016 TTPT00016
コンクリートカッター(ブレード) 径22インチ(56cm)	17.38%		コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
コンクリートカッター(ブレード) 径14インチ(35cm)	10.63%		コンクリートカッターブレード 径14インチ		TTPC00344 TTPT00344

施工単価表

単第0-0040 表

SPK22040303

1

m 当り

舗装版切断

コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版

全体厚15cmを超え30cm以下

機械構成比: 10.03%

労務構成比:

34.10%

材料構成比: 55.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン レギュラー スタンド	1.69%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=3 D=2	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版 全体厚15cmを超え30cm以下		C=2 E=1	コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下 -(全ての費用)	

施工単価表

単第0-0041 表

SPK22040302

1

m2

当り

舗装版破碎

コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版

障害無し 舗装版厚15cm以上35cm以下

機械構成比: 17.26%

労務構成比: 74.83%

材料構成比: 7.91%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型] 賃料 山積0.45m3	10.47%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
大型ブレーカ(ベースマシン含まず) 油圧式 質量600~800kg級	6.29%		大型ブレーカ(ベースマシン含まず) 油圧式 質量600~800kg級		MTPC00038 MTPT00038
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	29.41%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	25.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	7.68%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

単第0-0042 表

SPK22040142

DID区間有り 運搬距離12.0km以下(9.0km超) アスファルト殻

1

m3 当り

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 47.26% 労務構成比: 37.92% 材料構成比: 14.82% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.26%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	37.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=2 機械積込(騒対不要, 15cm超)又(騒対要) D=47 運搬距離12.0km以下(9.0km超)		

数 量 表

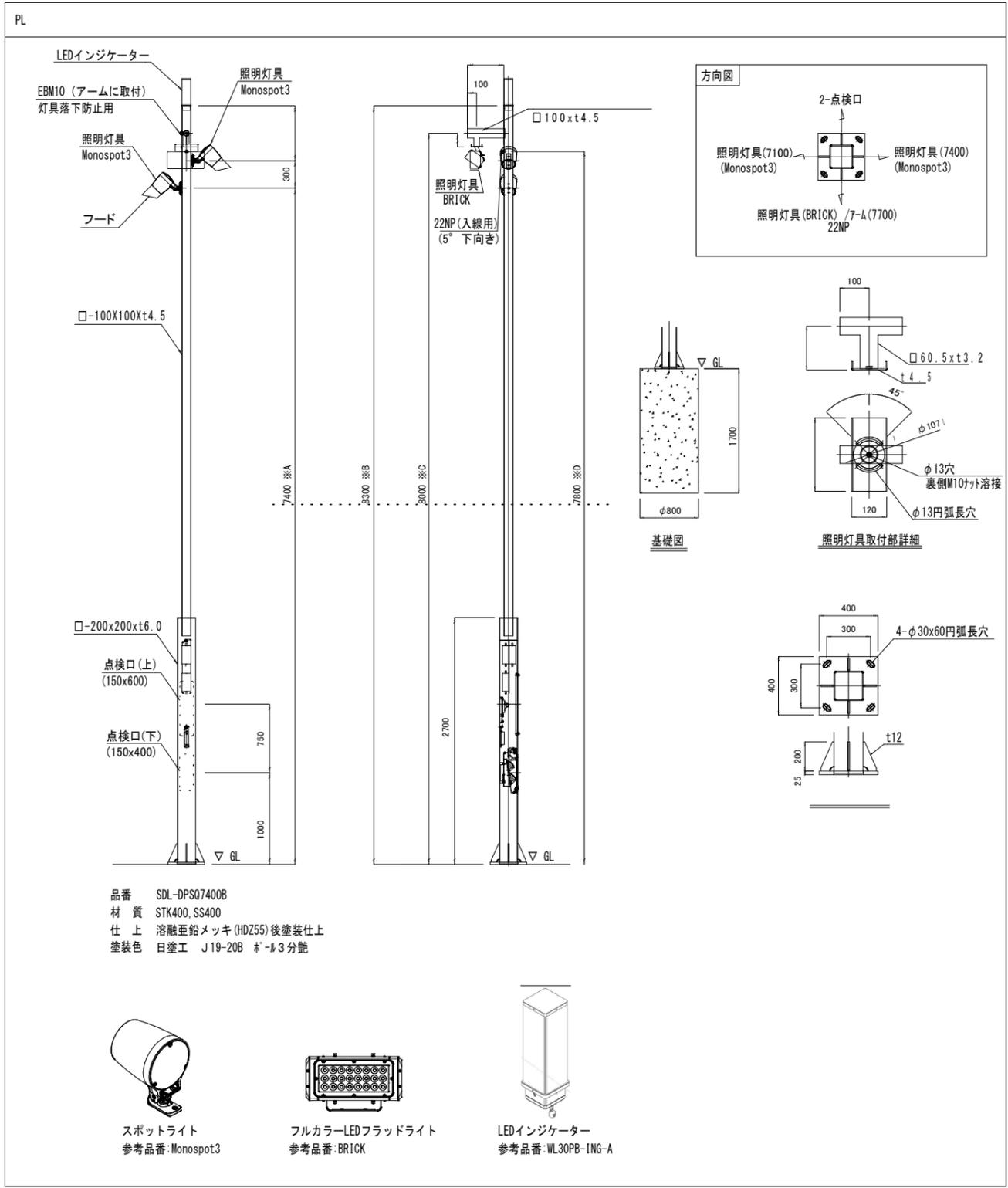
皆生みらいの灯り推進事業照明設置工事

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
電気設備工						
	作業土工					
		床掘	小規模	m3	108	
		埋戻	小規模	m3	83	
		残土運搬		m3	23	
		残土処分		m3	23	
	地下埋設工					
		ハンドホール	H2-6	基	6	
		ハンドホール	H2-9	基	2	引込点、S1からの受け
		ハンドホール搬入費	H2-6	基	6	
		ハンドホール搬入費	H2-9	基	2	引込点、S1からの受け
		EM-CETケーブル	22mm2 管内	m	222	
		波付硬質合成樹脂管 (FEP)	40mm	m	222	主幹電源線
		波付硬質合成樹脂管 (FEP)	40mm	m	222	予備配管
		波付硬質合成樹脂管 (FEP)	30mm	m	200	S4-S6同期
		EM-CEケーブル	2mm2- 3C 管内	m	1446	制御盤からポール灯まで
		波付硬質合成樹脂管 (FEP)	40mm	m	482	制御盤からポール灯まで
		波付硬質合成樹脂管 (FEP)	30mm	m	482	制御盤からポール灯まで
		DMXケーブル	DMX203-2P-EM	m	482	信号線
		DMXケーブル	DMX203-2P-EM	m	400	盤間同期用
		FCPEEケーブル	EM-FCPEE	m	482	制御盤-ポール灯 信号線
		コンクリート削孔	100~150mm 50mm	ヶ所	29	FEP30用
		コンクリート削孔	100~150mm 63mm	ヶ所	15	FEP40用
		地中埋設標	鉄製	個	9	
		埋設標識シート	2倍長(W)150	m	350	
		床掘	小規模	m3	30	枝線・基礎部
		埋戻	小規模	m3	20	枝線・基礎部
	受電設備工					
		引込柱	電力量計ボックス付	本	1	
		漏電ブレーカー	2P2E50AF/50AT	個	1	
		引込柱基礎		ヶ所	1	
		接地極	φ 10×1.5m	極	1	
		600V耐燃性ポリエチレン 絶縁電線(EM-IE)	8mm2	m	2	

照明器具仕様

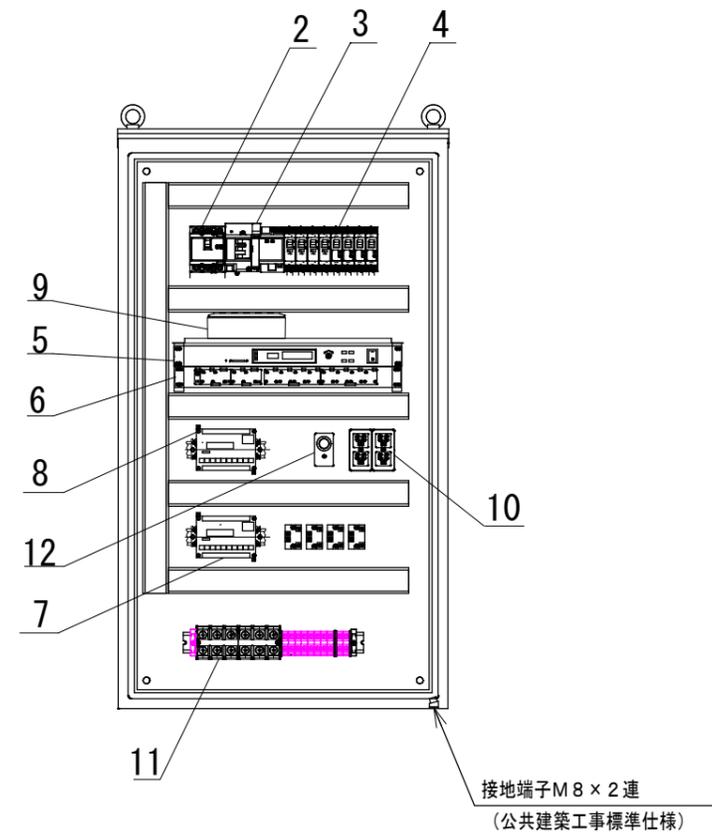
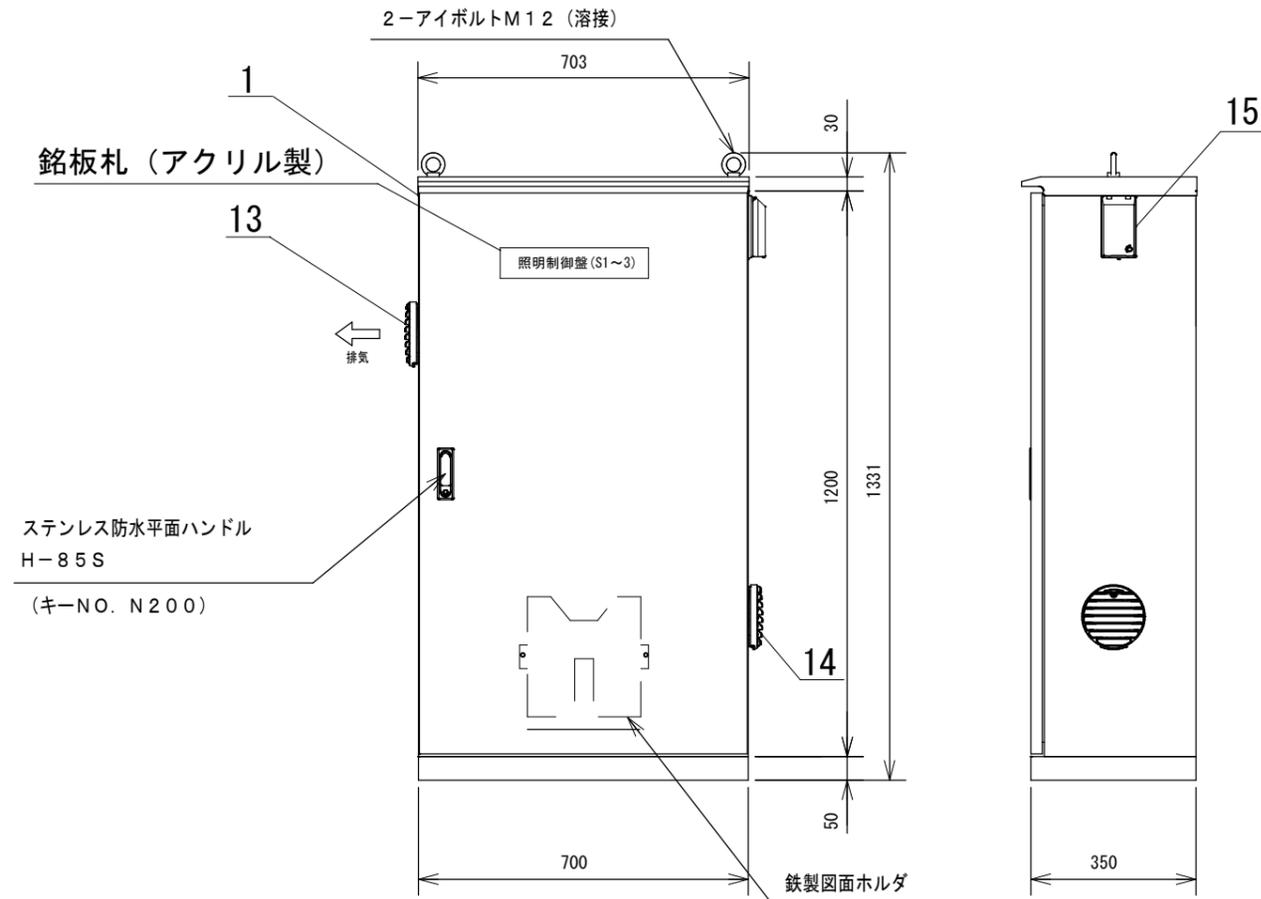
番号	機器名称	数量	仕様	参考品番
1	<3灯式スポットライトポール PL>			
	スポットライト	×20	LED36W, 100-200V, 3000K, DMX調光対応, IP67, 電源別置, 配光角30°, ポリエステル粉体塗装 日塗工 J19-20B 3分艶	Monospot3
	フード	×20	配光角30°, 重耐塩仕様, 日塗工 J19-20B 3分艶	Monospot3
	インジケータライト	×10	LED12W, 100-242V, 100mm角 全長300mm, 電球色, PWM調光, IP44	WL30PB-ING-A
	スポットライトポール (3灯式)	×10	角型段付8m, □100-□200, 溶融亜鉛メッキ (HDZT77) 後 塗装仕上げ日塗工 J19-20B 3分艶 スポットライト用アーム□100 L=400 フランジタイプ組込 (BRICK取付用) ※灯具の頭頂部の位置を揃えるために、ポールの長さを調整すること。(ポール番号について図E-03参照) ⑦ A 7100mm, B 8000mm, C 7700mm, D 7500mm ⑧⑨ A 7000mm, B 7900mm, C 7600mm, D 7400mm ⑩ A 6800mm, B 7700mm, C 7400mm, D 7200mm	SDL-DPSQ7400B SDL-PA800
	フルカラーLEDフラッドライト	×10	LED RGBW×24, 12, 200 lm, 100-240V, 色温度(2700~8000K), DMX調光対応, IP65, 電源内蔵, 配光角8°, W438.7×H262.5×D160.5mm, 本体重量10kg, 塗装色 黒 (重耐塩塗装)	BRICK
	ジョイントユニット	×30	15A (防水型配線用遮断器)	FMN68-15A

照明器具姿図

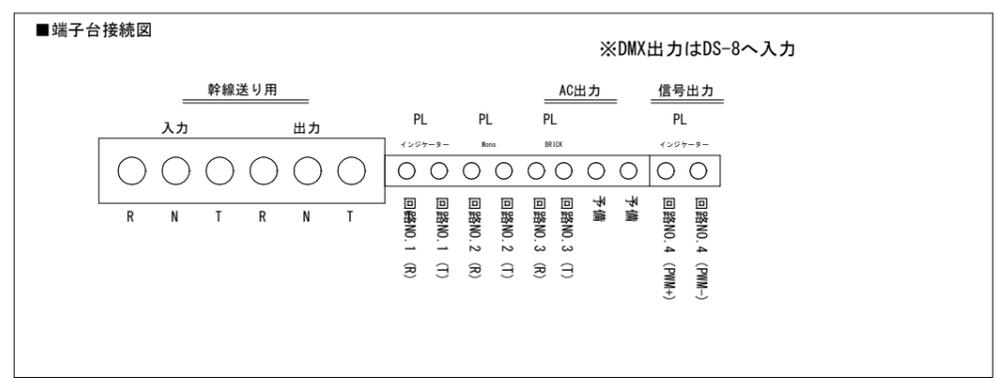
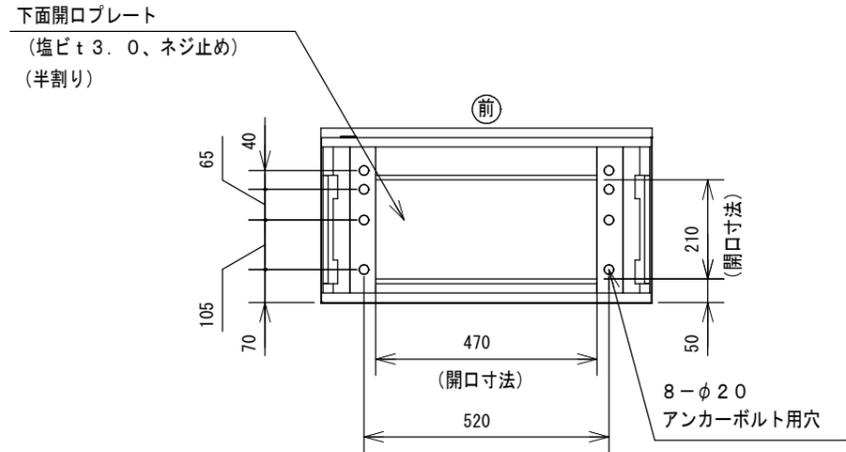


(参考図)

図面番号	第 2 枚 内 1 号
図面名称	皆生みらいの灯り推進事業照明設置工事 照明器具姿図
縮尺	
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日



15	ガードプレート	GPS用
14	ルーバー	外形φ135 (抜き穴φ115) 塩害用フィルター付
13	ファン付ルーバー	外形φ135 (抜き穴φ115) 塩害用フィルター付
12	盤用温度調節器	動作温度40°C
11	端子台	幹線送り用: M8 AC: M4 信号: M3
10	露出コンセント	2コ口 (接地極付き)
9	シーンスイッチ	10ボタン
8	PWM制御器	DMX→PWM変換
7	ON/OFF制御器	DMX制御・8ch/20A
6	信号分配器	1 in 8 out
5	DMXレコーダー	UDMR2
4	操作ブレーカー	MCB 2P1E 50AF/20AT × 4
3	電源用SPD	ELB 2P2E 50AF/20AT × 3+予備1ヶ 最大放電電流10kA
2	主幹ブレーカー	ELB 3P2E 50AF/20AT (単3中性線欠相保護付)
1	キャビネット	材質: SUS304 (t=1.5mm) 色: J19-20B 3分艶 基板: 鉄
部番	名称	名称



特性	
入力電圧	AC 100/200V
周波数	50/60Hz
消費電力	約80W
制御信号	DMX512
重量	約100kg

設置環境	
使用温度範囲	-10°C~40°C
使用湿度範囲	—
設置場所	屋外仕様 (IP44相当) 過大な振動や衝撃なきこと 強い高周波やサージを発生する機器から可能な限り離して設置すること

(参考図)

図面番号	第 2 枚 内 2 号
図面名称	皆生みらいの灯り推進事業照明設置工事 制御盤姿図
縮尺	1 : 15
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日

米子市経済部文化観光局観光課